

岩本 きよら

デビューCD発売記念
ピアノ・リサイタル

piano

ボルトキエヴィチ

—ロシア・ロマン派 最後の輝き—

PROGRAM

ボルトキエヴィチ カブリッチョ Op.3-1
10のエチュード Op.15-8
ピアノ・ソナタ第2番 Op.60
ラフマニノフ プレリュード「鐘」Op.3-2

メトネル 忘れられた調べ第2集 Op.39より
第4番「朝の歌」・第5番「悲劇的ソナタ」
リャードフ 舟歌 Op.44
チャイコフスキー ドゥムカ Op.59

※順不同。プログラムは変更する場合がございます。予めご了承ください。

2013.
3/16
(日)

13:00 開場 13:30 開演

東京オペラシティ リサイタルホール

京王新線(都営地下鉄新宿線乗入れ) 初台駅東口より直結 東京オペラシティタワーB1F

チケット: 一般3,000円(当日券3,200円) 学生2,000円
(全席自由) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取扱い

及川音楽事務所 Tel&Fax 03-3981-6052 / 070-5592-6402
オペラシティチケットセンター Tel 03-5353-9999
ピティナ <http://www.piano.or.jp/concert/support/>

主催: 及川音楽事務所 後援: 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、東京藝術大学音楽学部同
声会、日本アレンスキー協会、兵庫県立西宮高等学校音楽科同窓会「音華会」、(株)ピアノブレップ



デビューCD
「ボルトキエヴィチの世界」
好評発売中! 定価2,500円
詳しくは裏面をご覧ください >>>

憂愁のメロディ、華麗なる技巧。注目の若手女流ピアニストが、知られざる最後のロマン派をふたたび甦らせる！



Sergei Bortkiewicz 1877-1952

ボルトキエヴィチは、帝政ロシアに生まれ、20世紀前半のベルリンとウィーンを中心に活躍した作曲家です。当時のロシア帝国は文化的爛熟の頂点に達し、ピアノ音楽の世界でも多くの作曲家たちが華やかな創作活動を展開していました。そうした時代に生まれながら、相次ぐ戦乱と革命により故郷を追われ、不遇のうちに世を去った彼の人生は、まさしくロシア・ロマン派音楽の盛衰と軌を一にしたものでした。しかし、そんな彼が生涯を賭して作り続けた作品の数々は、望郷の念を色濃く漂わせた詩情と哀愁に満ち溢れており、今を生きる我々の心にも強く訴えかけてやみません。

このリサイタルでは、ダイナミックな演奏で知られる注目の若手女流ピアニスト岩本きよらが、今日まで長く忘れ去られてきた大作曲家ボルトキエヴィチの珠玉の名品たちに再びスポットライトを当てるとともに、彼の憧れの巨匠チャイコフスキー、ペテルブルグ音楽院の師リャードフ、そして同世代のラフマニノフ、メトネルらの作品を織り交ぜながら、華麗なるロシア・ロマン派最後の日々を多彩な音色で綴ります。

岩本きよら
Kiyora Iwamoto



兵庫県出身。4歳よりピアノを始める。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。これまでにピアノを小林岐余江、轟木裕子、梅本俊和、横原節、武田真理、伊藤恵、Ronan Magill、Karl Barthの各氏らに師事。現在はロシア音楽の第一人者、有森博氏に師事。2011年、オーストリア・インスブルック Stadtsaal 大ホールにてティミショアラ歌劇場管弦楽団と共演。また同年、ウィーンのペーゼンドルフアーザールにてソロリサイタルを開催。翌年にはヴィチェンツァの世界遺産テアトロ・オリンピコをはじめミラノ、ヴェネツィアなどイタリア各地で演奏し好評を博すなど、国内外での演奏活動を意欲的に。現在はロシア音楽を中心に演奏活動を行うほか、ボルトキエヴィチをはじめとする知られざるロシア作品の発掘・紹介に務めている。またサロンや音楽教室を主催するなど、幅広く活動している。

Official Blog:
<http://kiyora-piano.sblo.jp/>

岩本きよら 待望のデビュー CD

Beltà
YZBL-1036

ボルトキエヴィチの世界 ピアノ作品集

日本初録音を含む意欲的なデビュー作に
各界から推薦の声

—岩本きよらさんの演奏は、作品への情熱を真っ直ぐに鍵盤にぶつける純粋さが魅力的だと感じています。今回録音されたボルトキエヴィチの作品は、作品との相性の良さも感じる、彼女の持ち味が存分に発揮された、大変優れたアルバムになっています。カタログ的にも貴重なこのアルバムが、多くの方々に聞いていただけるようお願いしながら、ここに強く推薦したいと思います。—

有森博（ピアニスト、東京藝術大学准教授）

—ボルトキエヴィチの魅力を、ロシア音楽に造詣の深い新進気鋭のピアニスト岩本きよらが、鮮やかな技巧で瑞々しく示してくれた。この知られざる魅惑の音楽を一人でも多くの方に味わってほしいと願うばかりである。—

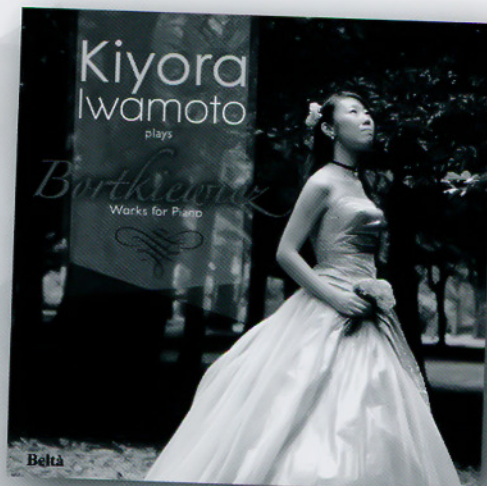
高橋健一郎（札幌大学教授、日本アレンスキー協会副会長）

—ロシアの埋もれた音楽の発掘・紹介に努めている岩本の演奏は、作曲家への共感に満ちた誠実なもの。特に65歳の時の「幻の力作ソナタ」が感じのいい熱演で、ボルトキエヴィチの音楽と演奏の真髄を知らされた思いがする。—

近藤憲一（レコード芸術 2013年11月号 New Disc Collection より）

好評発売中 定価 2,500円（税抜 2,381円）

お申込み・お問合せ：及川音楽事務所 Tel / Fax **03-3981-6052**
oikawakazuharu@s7.dion.ne.jp



収録曲目

- 1 カプリッチョ 作品3-1
- クリミアのスケッチ 作品8
 - 2 i. ウチュ=コシュの岩山
 - 3 ii. 海のカプリス
 - 4 iii. アルプカの遊歩道
 - 5 a. オリент風の牧歌
 - 6 b. 嵐
- 10のエチュード 作品15
 - 7 第8番 ラメントーソ・コン・グラン・エスプレッシオーネ
 - 8 第9番 アレグロ・ディ・モルト
 - 9 第10番 プレスト・フリオーソ
- 9 4分の3拍子で 作品48-2
- ピアノ・ソナタ第2番 嬰ハ短調 作品60
 - 10 第1楽章 アレグロ・マ・ノン・トロポ
 - 11 第2楽章 アレグレット
 - 12 第3楽章 アンダンテ・ミゼリコルディオソ
 - 13 第4楽章 アジタート
- 14 エチュード 作品65-2